

平成24事業年度に係る経営協議会の学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した事例

| | 開催日 | 経営協議会学外委員の意見 | 意見への対応 |
|---|------------------------|---|--|
| 1 | 平成23年6月28日 | ○東日本大震災の発生に伴い、防災対策の提言や活動状況を地域に発信してほしい。 | ◎平成22, 23年度は500人規模だった「えひめ防災フォーラム」を平成24年度は1, 000人収容のホールで開催(来場者約900人)、平成25年度は3, 000人収容のホールで開催することとした。また、大規模災害の発生を想定し、初動体制及び復旧計画などを明確にした「愛媛大学業務継続計画」を策定するためのワーキンググループを役員会のもとに立ち上げ、平成25年3月時点における業務継続計画(BCP)を策定するとともに、役員会や教育研究評議会を通じて教職員に周知を行い、防災意識の向上に努めた。 |
| 2 | 平成23年6月28日 | ○経費の抑制や省エネルギー対応に取り組んでほしい。 | ◎四国の国立大学と連携し、重油やコピー用紙の共同調達を実施、また、耐震改修の際には、LED照明を導入するなどして、積極的に経費の節減や省エネルギー対応に努め、現在のところ、第2期中期目標・中期計画中の目標である一般管理費の比率を3%未満にすることが達成できる見込みである。 |
| 3 | 平成24年2月24日 (持ち回り開催) | ○事案に対して迅速かつ効率的に審議が行えるので、事案ごとに持ち回りにより会議を開催するなどしてほしい。 | ◎経営協議会の効率的な進行と実質的な審議を充実させるため、資料を事前に配付したり、事案ごとに持ち回りにより会議を開催するなどして、事案に対して迅速かつ効率的な審議を行うとともに、学外委員から意見を求める機会を増やした。的を絞った意見聴取の機会を多くした。(平成23年度3回開催, 平成24年度6回開催) |
| 4 | 平成24年2月24日 (持ち回り開催) | ○俳句が盛んな松山にある大学の学生として、もっと地域の歴史や文化について学んでほしい。 | ◎教育学部国語教育に近現代俳句の教員を採用し、郷土の俳人を授業に取り入れた授業を行うとともに、当該教員が地域の文化活動に携わるなどの貢献を行った。 |